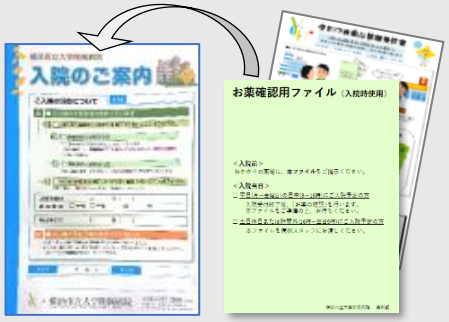
「使用中医薬品情報提供書」の運用について

病院



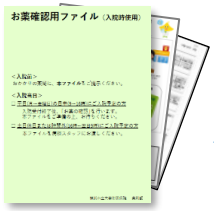
「入院のご案内」に、以下を封入
①「お薬確認用ファイル」
②「使用中医薬品情報提供書」
（以下、提供書）

入院決定

患者

③②の情報に基づいた持参薬面談

持参薬担当薬剤師



（平日日勤帯）
★「提供書」をそのまま面談用紙として流用

入院時に持参
↓（土・休日など）
病棟で医師、看護師が内容確認
※翌営業日、薬剤師が内容確認
↓

④持参薬の鑑別報告（電子カルテに反映）
★鑑別報告には、薬局からの情報もすべて含まれる

入院加療　退院

病棟担当薬剤師

保険薬局

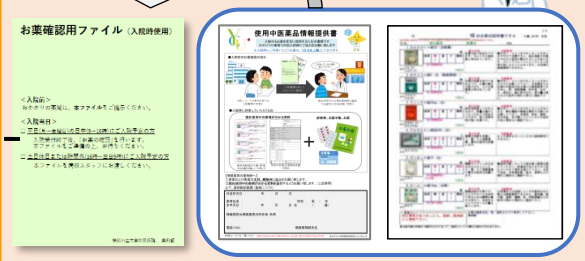
①薬剤情報の提供依頼

・“薬局への依頼” を患者へ説明
（患者サポートセンター看護師が担当）
・対象：薬を使用中の予定入院患者

薬局薬剤師

②薬剤情報の提供

・患者または家族が入院時に持参



「お薬確認用ファイル」に以下を集約、患者へ渡す
①「提供書」（記載したもの）
②「現在使用している薬剤」の資料

＜基本項目（5項目）＞
薬の管理者、医師の指示による中止薬
自己調節している薬、市販薬・サプリメント
薬剤アレルギー・副作用歴

⑤薬剤情報のフィードバック

・入院中の薬剤変更や減薬の情報
・②の情報に対する補足・訂正

⑥退院後のフィードバック